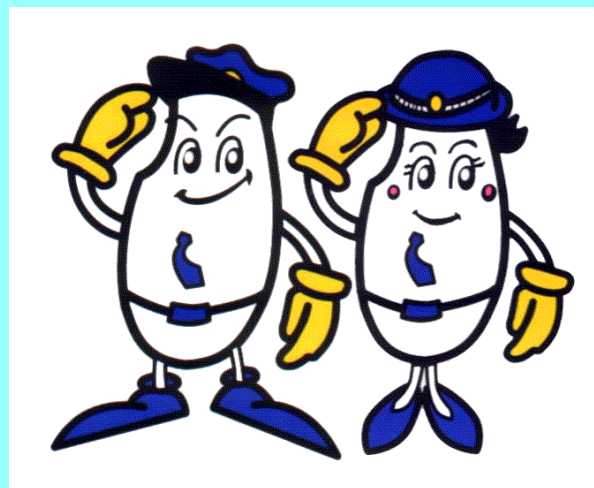


平成22年3月

# 新潟県治安対策アクションプラン

～安全・安心な地域社会をめざして～

(平成19年から平成21年までの推進状況)



新潟県警察

## 新潟県治安対策アクションプランに掲げた数値目標の推進状況

### 【刑法犯】

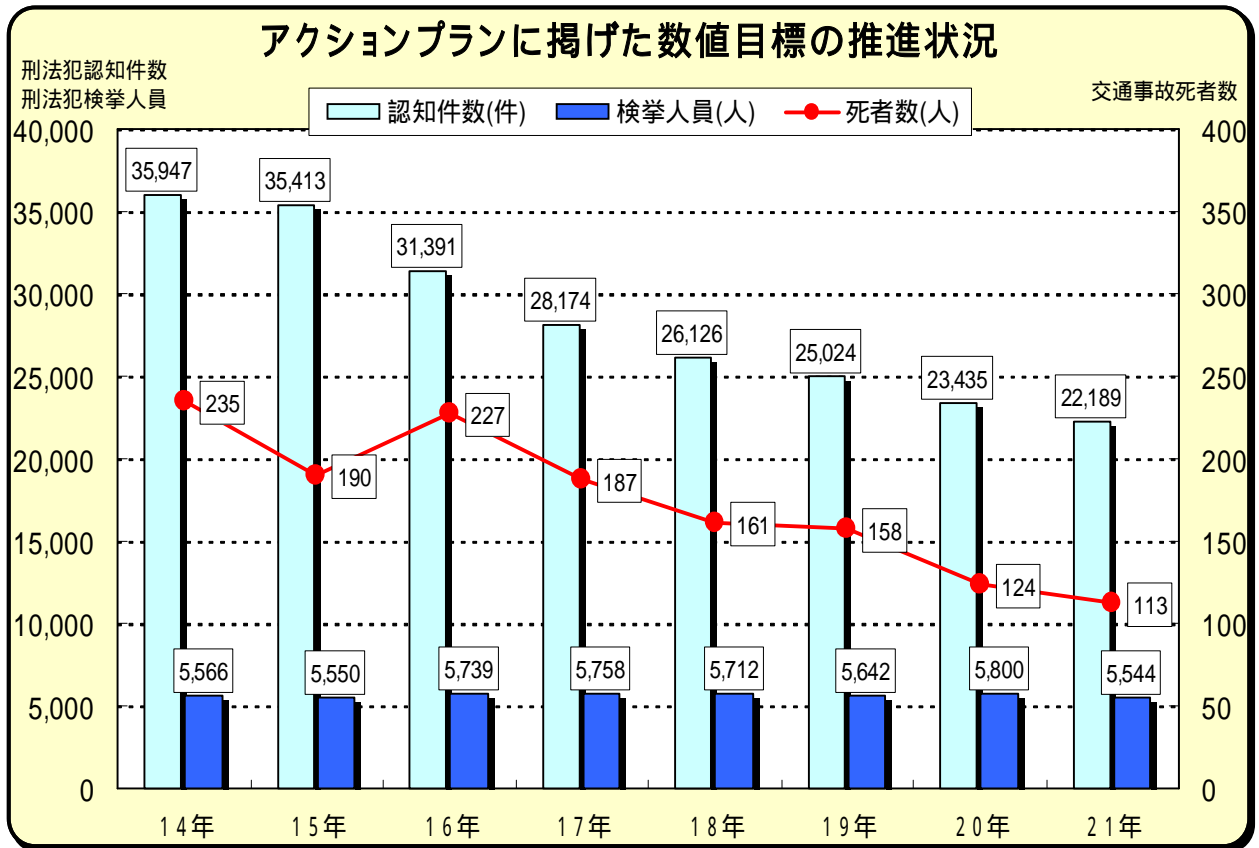
緊急治安対策プログラム推進期間  
16年～18年末(3年間)

治安対策アクションプラン推進期間  
19年～21年末(3年間)

	平成21年までの 年間数値目標	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
認知件数(件)	24,000件以下	35,947	35,413	31,391	28,174	26,126	25,024	23,435	22,189
検挙人員(人)	5,900人以上	5,566	5,550	5,739	5,758	5,712	5,642	5,800	5,544

### 【交通事故】

	平成21年までの 年間数値目標	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
死者数(人)	155人以下	235	190	227	187	161	158	124	113



刑法犯認知件数は、平成14年をピークに7年連続減少し、1年早く目標を達成しました。

刑法犯検挙人員は、平成20年に過去10年で最多となる5,800人となりましたが、目標達成には至りませんでした。

交通事故死者数は、1年早く目標を達成し、更に平成21年には昭和33年(115人)以降で最少となる113人となりました。

## 個別施策の主な推進状況

### 1 安全・安心なまちづくりの推進

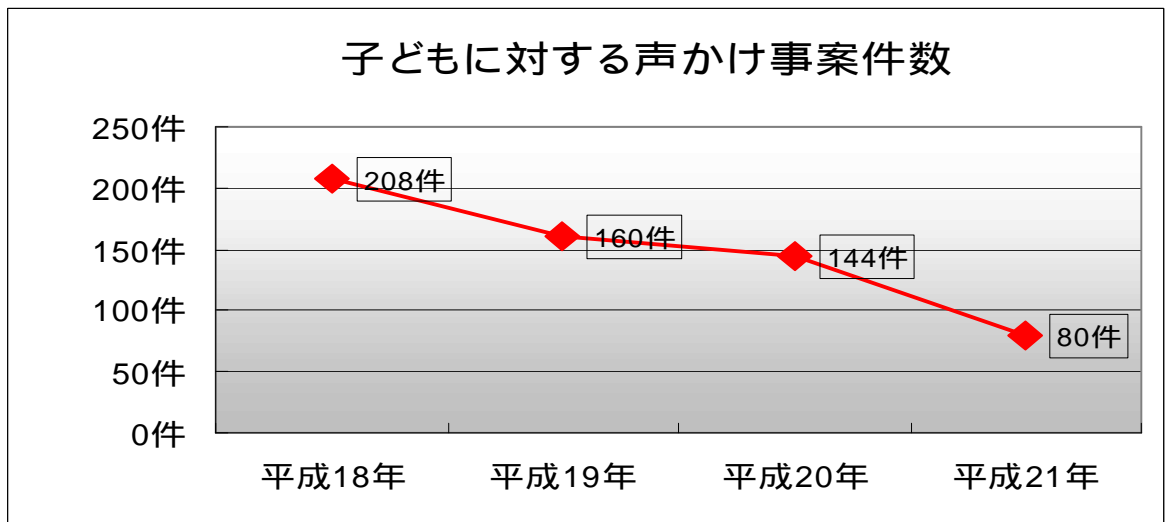
侵入盗は平成20年まで減少しましたが、平成21年は増加しました。

《侵入盗の発生状況》

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
窃盗犯認知件数	18,953件	18,068件	16,539件	15,786件
うち侵入盗	2,518件	2,366件	2,085件	2,139件

子どもに対する声掛け事案が大幅に減少しました。

《子どもに対する声掛け事案の発生状況》



上記表は、高校生以下に対する声掛け事案を計上

刑法犯少年の検挙人員が減少しました。

《刑法犯少年検挙状況と初発型非行検挙状況》

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
刑法犯少年検挙人員	1,637人	1,619人	1,502人	1,315人
うち初発型非行	1,153人	1,166人	1,049人	922人
刑法犯少年に占める初発型非行の割合	70.4%	72.0%	69.8%	70.1%

「刑法犯少年」：刑法等の罪を犯した14歳以上20歳未満の者をいう。

「初発型非行」：犯行手段が容易で、動機が単純であることを特徴とするもので、本格的な非行へ深化していく危険性が高い非行（万引き、自転車盗、オートバイ盗、占有離脱物横領の4罪種）をいう。

## 2 重要犯罪等に対する捜査の強化

重要犯罪の認知件数は、3年間で約半減した一方で、検挙率は大きく向上しました。

### 《重要犯罪認知・検挙状況》

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
重要犯罪認知件数	320件	295件	230件	167件
殺人	23件	20件	22件	19件
強盗	51件	44件	38件	28件
放火	40件	56件	31件	26件
強姦	23件	12件	19件	18件
略取誘拐・人身売買	9件	4件	2件	1件
強制わいせつ	174件	159件	118件	75件
重要犯罪検挙件数	187件	150件	128件	134件
重要犯罪検挙人員	144人	125人	118人	99人
重要犯罪検挙率	58.4%	50.8%	55.7%	80.2%

「重要犯罪」～殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつの各罪種をいう。

重要窃盗犯の認知件数は、平成20年まで減少し、平成21年は前年と同数でした。

また、検挙率は減少しました。

### 《重要窃盗犯認知・検挙状況》

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
重要窃盗犯認知件数	2,879件	2,638件	2,349件	2,349件
侵入盗	2,518件	2,366件	2,085件	2,139件
自動車盗	231件	169件	138件	146件
ひったくり	30件	41件	73件	26件
すり	100件	62件	53件	38件
重要窃盗犯検挙件数	1,260件	1,042件	896件	854件
重要窃盗犯検挙人員	281人	237人	256人	238人
重要窃盗犯検挙率	43.8%	39.5%	38.1%	36.4%

振り込め詐欺の認知件数及び被害金額は、平成20年をピークに、平成21年は大幅に減少しました。

### 《振り込め詐欺の認知・検挙状況》

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
認知件数	393件	372件	427件	140件
被害金額	4億1,060万円	4億4,542万円	5億7,465万円	1億6,730万円
検挙件数	157件	57件	148件	329件
検挙人員	34人	10人	18人	84人

検挙件数及び検挙人員には、通帳詐欺等の助長犯を含む。

### 3 組織犯罪対策・来日外国人犯罪対策の推進

暴力団犯罪の検挙人員は、平成19年に増加しましたが、平成20年以降は減少しました。

#### 《暴力団犯罪の検挙状況》

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
暴力団犯罪	検挙件数	321件	241件	367件	316件
	検挙人員	233人	245人	203人	178人

上記表には、暴力団員(周辺者を含む。)の検挙人員(刑法犯・特別法犯)を計上

薬物事犯の検挙人員は、平成20年に減少しましたが、平成21年は増加し、100人を超えました。

けん銃の押収量は、平成19年に増加しましたが、平成20年以降は減少しました。

#### 《薬物事犯検挙・銃器押収状況》

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
薬物事犯検挙人員	83人	96人	94人	115人
銃器押収量	8丁	11丁	6丁	2丁

薬物事犯とは、麻薬及び向精神薬取締法違反、大麻取締法違反、覚せい剤取締法違反をいう。

薬物事犯の検挙人員には、他の犯罪で検挙された被疑者が薬物事犯を犯していた場合を含む。

### 4 総合的なテロ対策等の推進

平成19年5月に「新潟県沿岸警備協力会連合会」を設立し、沿岸部における警戒や不審外国人の発見・検挙に向けた取組の強化を図りました。

原子力発電所や空港等の関係機関と合同による不法侵入者対応訓練を実施しました。

突発重大事案への対処能力を強化するため、新潟県との国民保護共同訓練、新潟県・新潟市合同総合防災訓練、大規模災害の発生を想定した緊急対応・情報集約訓練等を実施しました。

「新潟県サイバーテロ対策協議会」を設立し、インフラ事業者と連携を深め、連絡体制の強化を図りました。



不法侵入者対応訓練



合同総合防災訓練

5 重点的な交通安全対策の推進

高齢者の交通死亡事故は減少しましたが、全死者数に占める割合は、平成20年以降増加しました。

《高齢者の交通事故死者数》

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
高齢者死者数		92人	89人	71人	69人
	歩 行 中	41人	45人	32人	36人
	自転車乗用中	16人	13人	11人	12人
全事故死者数		161人	158人	124人	113人
全事故死者数に占める 高 齢 者 の 割 合		57.1%	56.3%	57.3%	61.1%

死亡ひき逃げの検挙率は100%を維持しました。

《ひき逃げ事件の検挙状況》

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
死 亡 ひき逃げ	発生件数	4件	2件	5件	3件
	検挙件数	4件	2件	5件	3件
	検 挙 率	100%	100%	100%	100%
重 軽 傷 ひき逃げ	発生件数	143件	104件	123件	103件
	検挙件数	85件	62件	79件	75件
	検 挙 率	59.4%	59.6%	64.2%	72.8%
合 計	発生件数	147件	106件	128件	106件
	検挙件数	89件	64件	84件	78件
	検 挙 率	60.5%	60.4%	65.6%	73.6%

交通事故死者数のシートベルト着用率は、平成20年に向上したものの、平成21年は減少しました。

《自動車乗車中死者のシートベルト着用状況》

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
自動車乗車中死者		65人	67人	50人	43人
ベ ル ト	着 用	23人	20人	22人	14人
	非着用	39人	44人	24人	29人
	不 明	3人	3人	4人	0人
着用者率		35.4%	29.9%	44.0%	32.6%

## 6 治安基盤の充実・強化

警察官の増員と負担人口の軽減に努めました。

《警察官の増員数と警察官一人当たりの負担人口》(年度)

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
増員数	35人	80人	50人	50人	0人	17人
負担人口(本県)	637人	622人	612人	607人	604人	598人
負担人口(全国平均)	527人	520人	513人	511人	511人	509人
全国比	+110人	+102人	+99人	+96人	+93人	+89人

捜査技能伝承官制度を導入し、卓越した捜査技能を有する退職警察官を採用して若手警察官等に対する技能伝承を推進しました。

第一線現場の教訓とすべき事案等を想定したロールプレイング方式による実践的な教養を積極的に取り入れ、幹部の指揮能力の強化や若手警察官の早期戦力化を図りました。

### 今後の取組

アクションプランに引き続き、平成22年1月に策定した「安全・安心にいがた」推進計画に基づき、目標数値の達成に向けて諸施策を推進します。

目標数値～平成24年末までに

刑法犯認知件数 2万1,000件以下

刑法犯検挙人員 5,900人以上

交通事故死者数 100人以下